

# 平成 28 年度 事業計画



## 岡山理科大学附属中学校

中高一貫校の優れた教育内容を提供し、学んでいる子どもたちの学力をさらに伸ばし、難関大学入試を突破するだけでなく、社会に出て各分野で活躍できる人材を育成します。



グローバル化や産業構造の転換などの変化により、社会で求められる能力が変わりつつあります。変化する社会の中で、自分の人生

を生き、社会の持続的な発展に貢献するためには、自分の頭で考えて判断し、主体的に行動できるような人を育てる教育が求められています。

本校は、知識・技能のみならず思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性という「真の学力の育成・評価」に取り組みます。

大学の併設校としてのスケールメリットを存分に活かし、中大が連携することで、大学で学ぶ学問の一端にいち早く触れる機会を設けたいと思います。能動的な学びの下、知的好奇心が刺激され、勉学へのモチベーションを高められることで、将来の進路を主体的に選択していく契機にしたいと考えています。

また、このような取り組みを通じて大学入試センター試験に代わり新たに実施される「新テスト」にいち早く対応していきたいと考えています。

加えて、附属高校校訓を下に「立志三風」を定め、その実現のために「生活三則」の指導を教職員一丸となって取り組んでいきます。

### 立志三風

- 一、慎独・去稚心の志風を守る（自主）
- 一、振気・勉学の良風と尚ぶ（努力）
- 一、忠恕・爽凜の美風と養う（友愛）

### 生活三則

- 一、場と清めましょう
- 一、時と守りましょう
- 一、礼と正しましょう

岡山理科大学附属中学校

校長 河村 定彦

## 教学の充実

### ■クラス別教育目標

- (1) スーパー選抜クラスの全国中学校偏差値 60 を維持し、岡山県での合格難関校を維持します。  
また自ら進んで学習する「自立学習」を身につけさせることで、難関大学に合格できる学力を養います。
- (2) 選抜クラスは、基礎学力の充実を図り、学ぶことの大切さを身につけさせ、大学進学に対応させます。

### ■生徒による授業評価・授業者自身による授業評価

確かな学力を育むために、教員の授業改革が生徒にどのように受け止められているのかを知り、生徒の側から捉えた授業改善を進めるとともに、授業者自らが自己評価を行いながら改善点を明らかにし

て、授業改善に生かします。

#### ■授業計画書の作成

全科目の授業計画書を作成し、授業内容及び授業進捗を生徒・保護者が理解し、円滑な学習活動を助けます。

#### ■チューターによる自習教室

通年で週3日開設し、生徒の自学自習能力を向上させます。

#### ■イメージ教育・英会話

実技科目でイメージ教育を実施し国際性豊かな人材の育成を図ります。英会話は1～3年生の全クラス、イメージ美術はスーパー選抜クラス1・2年を対象に実施します。

#### ■実用英語技能検定・漢字能力検定を全生徒に実施

- (1) 1年在籍生徒の9割以上が5級以上の取得を目標とします。
- (2) 2年在籍生徒の8割以上が4級以上の取得を目標とします。
- (3) 3年在籍生徒の6割以上が3級以上の取得を目標とします。
- (4) 教員が生徒に対し、積極的に受検指導を行います。

#### ■TOEIC Bridgeを1・2年生の生徒に実施

- (1) 2年終了時には180満点中120点をスコアとすることを目標とします
- (2) 150点を超える生徒にはTOEIC受験を積極的に促します。

#### ■教員研修会

『授業改善』を目的に各教科で研修会を年1～2回実施します。

## 生徒指導

#### ■社会性規範育成への取組

社会的なモラルは学校生活においても不可欠です。学校独自としての規則だけではなく、その場の状況に適した言動が取れるよう、常日頃から生徒への指導を行い、また話し合いも大切にします。

#### ■服装指導の実施

服装モットーは「凜とした爽やかさ」です。規定のものに限らず全てにおいてTPOに合わせ、清々しさを持った着こなしを目指します。

#### ■将来につながるリーダーの育成

体育祭、爽凜祭（学習発表会）、球技大会、オープンスクールなど様々な学校行事のほとんどは実行委員が主体性を持って運営していきます。その中で企画力、実践力を学び、総合的に人間力を高めるようにしていきます。

#### ■挨拶の励行

気持ちを込めて挨拶ができるように、また、正しい言葉遣いができるようにしていきます。

#### ■情報教育

インターネット等によるトラブルにまきこまれないための情報教育を行います。

#### ■家庭、地域社会との協力・連携強化

スクールバスの乗車指導・通学指導などの登下校指導の実施、毎日の生活ノートの確認など生徒の学校生活や地域および家庭での生活などをサポートしていきます。

#### ■教育相談室・保健室との連携

思春期である中学生期を心身ともに健康で過ごすために綿密に連絡を取り、連携を強化します。

## 教務関係

### ■授業・学習関係

- (1) 1単位当たり年間35時間の授業時間を確保します。行事や休日では抜ける授業は代講日の設定、平日補習、夏期補習、春期補習で補います。
- (2) 自習教室や平日補習を利用し、クラスの種別に関係なく、授業で理解できなかった部分の補いができる機会を創設します。
- (3) 休業期間中の補習は進路指導課と連携し、夏期に8日、冬期に3日、春期に4日実施します。実施科目は国語、社会、数学、理科、英語とします。各教科から指名を受けた生徒には、部活動より補習を優先させます。
- (4) 1年生では学習成績や本人の希望により選抜クラスからスーパー選抜クラスへの移動を認めます。

### ■カリキュラム・シラバス関係

授業(数)中心のカリキュラムから学習内容の理解度に応じた指導が可能なカリキュラムを作成します。授業で復習が十分できない場合は先取り学習に固執せず、学習内容の定着を第一とします。

### ■考査関係

- (1) 定期考査の成績処理終了後、各教科に各学年の学習進捗状況の把握、授業計画書の見直しを求めます。
- (2) 成績不振と判定する基準点を設け、基準点に達していない生徒への指導を行います。指導期間中の部活動は原則禁止とします。
- (3) 新テスト対策として、教科横断型の考査出題をします。

### ■情報発信

学年通信を発行し、生徒の現況を家庭に伝え教育活動への協力を求めます。文書とウェブの両方を活用します。

## 生徒・教職員数

### ■在籍生徒数

(平成28年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	46	240	151

(単位：人)

### ■教職員数

(平成28年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員	計	
1	1	12	14		事務職員
					1

(単位：人)

## 主な行事予定

4月9日	入学式
4月16日	授業参観
4月21日	健康診断
5月28日	PTA総会
6月1日	音楽鑑賞
9月24日	体育祭(岡山ドーム)
9月27日～29日	修学旅行、勉強合宿
11月4日	爽凜祭(学習発表会)
1月20日	百人一首大会
2月1日～2日	校外活動
3月16日	義務教育修了式
3月17日～26日	海外研修
3月24日	終業式

## 財務関係

### ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		28年度 予算額	前年度 決算額
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	81,577	89,777
	経常費等補助金	60,900	62,989
	その他収入	3,103	4,469
	計	145,580	157,235
	教育活動収支差額	-29,623	-56,585
教育活動 支出	人件費	119,829	169,308
	教育研究経費	33,988	32,163
	管理経費	21,386	12,350
	その他支出	0	0
	計	175,203	213,820
教育活動外収入			
取	受取利息等	0	9
支	借入金利息等	0	0
教育活動外収支差額		0	9
経常収支差額		-29,623	-56,576
特別	取	資産売却差額等	0
	支	資産処分差額等	0
	特別収支差額		0
基本金組入前収支差額		-29,623	-56,576
基本金組入額合計		0	0
当年度収支差額		-29,623	-56,576